

令和7年度

第2回 学校運営協議会

令和 7年 7月16日（水）

9：50～11：00（会議室）



令和7年6月20日（金）リニューアルした水車

浜松市立伊佐見小学校

【 次第 】 司会（教頭）

- 1 開催要件の確認
- 2 会長挨拶
- 3 校長挨拶
- 4 議長選出
- 5 前回会議録の確認
- 6 熟議（議長進行）
 - ・ 1 学期の様子と 2 学期に向けて ～学校評価アンケートをもとに～
- 7 報告
 - ・ ボランティアの活動について
(CS 担当：澤木 学校支援コーディネーター：嶋野)
- 8 連絡
 - ・ 次回の会合について【12月11日(木)9：10～11：00】

第2回 学校運営協議会参加者名簿

学校運営協議会委員

会 長	イ ヨ ダ ヒ サ シ 伊代田 尚志 (学校支援コーディネーター兼任)	
副 会 長	フルハシ ヒロイチ 古橋 廣一	
委 員	ムラカミ ク ミ コ 村上 久美子 (学校支援コーディネーター兼任)	欠席
委 員	シ マ ノ ナ オ キ 嶋野 直輝 (学校支援コーディネーター兼任)	
委 員	ナカムラ ヨシミチ 中村 勝信	
委 員	オ ガ イ ユ リ 小粥 裕里	
委 員	ツカモト マ サ ヨ 塚本 昌代	
委員 (新規)	サイトウ ヒト シ 齋藤 仁志	
委員 (新規)	フルハシ コウキチ 古橋 光吉	
委員 (新規)	ヤマモト 山本 あすか	

オブザーバー

伊佐見協働センター

学校

校 長	タ カ ス ヨ シ ロ ウ 高須 祥郎
教 頭	ツジムラ フ ミ コ 辻村 文美子
教 務 主 任	カ ワ イ ヒ ロ シ 川合 弘志
CS 担当教諭	サ ワ キ ミ カ 澤木 美加
CS ディレクター	マ ブ チ ヒ ト ミ 間渕 仁美

浜松市教育委員会

教育総務課	ス ズ キ ヨ ウ コ 鈴木 陽子
-------	----------------------

令和7年度 第1回 伊佐見小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年5月14日（水） 9時10分から11時10分まで
- 2 開催場所 伊佐見小学校 会議室
- 3 出席委員 古橋 廣一、村上 久美子（学校支援コーディネーター兼任）、
嶋野 直輝（学校支援コーディネーター兼任）、中村 勝信、小粥 裕理、
塚本 昌代、齋藤 仁志、古橋 光吉、山本 あすか
- 4 欠席委員 伊代田 尚志（学校支援コーディネーター兼任）
- 5 オブザーバー 鈴木 浩夫（伊佐見協働センター）、秋山 哲也（伊佐見協働センター）
- 6 学 校 高須 祥郎（校長）、辻村 文美子（教頭）、川合 弘志（教務主任）、
澤木 美加（CS担当教諭）、間瀬 仁美（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 間瀬 仁美
- 9 議長の選出

議長を予定していた伊代田会長が欠席のため、事前に伊代田会長から依頼されていた嶋野委員が議長を務めることを了承した。また、次回以降の議長について、第2回は山本委員、第3回は古橋光吉委員、第4回は齋藤委員が務めることとなり、一同これを承認した。

10 協議事項

- （1）学校運営基本方針・学校いじめ防止基本方針について
- （2）学校運営協議会の自己目標の決定
- （3）夢育やらまいか事業（CS加算分）に対する意見書について

11 会議記録

会議に先立ち、授業参観を行い、子供たちへのメッセージをカードに記入した。

司会の辻村教頭から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校運営基本方針・学校いじめ防止基本方針について

高須校長より伊佐見小学校運営基本方針と学校いじめ防止基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・いじめの定義が幅広くなっている。先生の指導も場合によっては行き過ぎととられるのではと危惧する。対応が難しいと思う。（嶋野委員）
- ・いじめの定義が、自分が子供の頃と変わっていて違和感を覚える。価値観が今と昔では違うが、今の子供はいろいろな世代の方の話を聞く機会が少ない。せっかく広い世代の方々と構成されたこのような会議があるので、大人の価値観を知るような機会が作れないだろうか。（山本委員）
- ・自分が子育てしていた頃は、いじめについてあまり聞いたことがなかった。ただ、いじめは一場面の切り取りや、対象となる子に対する先生の先入観や感情に左右されることがないようにして欲しい。（塚本委員）

→いじめへの対処は、一教員の先入観や感情で左右されないよう、複数の教員で行っており、一場面の切り取りにならないように周りへの聞き取りを行うなど、丁寧になっているので信頼して欲しい。(高須校長)

- ・いじめは一生ついて回る問題。子供自身で考え、解決する力をつけさせたい。また、学校に行きたくない、とならないために、みんなで学校は楽しいところというムードを作っていって欲しい。(中村委員)
- ・昔は子供の中にトラブルを仲裁するガキ大将的な子がいて、子供同士で解決していたが、今はそういった子がいない。子供が対処する力をつけ、積極的に自分たちの社会を良くしていこうという気持ちを持って欲しい。そういったことを学校教育の中でできるならお願いしたいが、できないなら親や社会がやるべき。(古橋廣一委員)
- ・以前、公民館のおもちゃの片づけを子供たちに頼んだら、リーダー的な子が指示を出し、みんなもそれに従ってきれいにしてくれた。小学生でも社会性を身に付けていると思った。(中村委員)
- ・違う世代の意見を聞く機会として、クラスミーティングのテーマに大人の意見も入れ、各世代の意見を出し合うのもいいかもしれない。(嶋野委員)

(2) 学校運営協議会の自己目標の決定

辻村教頭より本年度の目標案について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・目標案に「保護者や地域を巻き込んだ教育活動にしていく方法を考えていく」とあるが、「方法を考える」だけに止めず、「実施する」というところまで入れたほうがよいのではないか。(古橋廣一委員)
- ・(上の意見について)「実施する」というのは、今年度内なのか、それとも今年度熟議したことを来年度に実施するということなのか。(小粥委員)
→できることはすぐに実施し、できないことは来年度に引き継げばよいのでは。(古橋廣一委員)

(3) 夢育やらまいか事業(CS加算分)に対する意見書について

辻村教頭より夢育やらまいか事業に対する意見書の提出案について説明があり、一同これを承認した。

12 報告事項

村上コーディネーターより、学校支援コーディネーターの活動についての説明があった。

13 連絡事項

辻村教頭より第2回学校運営協議会が7月16日(水)9:10より開催される旨、案内があった。

【熟議】

《 1 学期の様子と 2 学期に向けて 》～学校評価アンケートをもとに～

学校運営協議会のみなさまから、本校の教育についてよさや課題、改善案等について御意見をうかがえたらと思います。本日の熟議の結果を職員間で共有し、2 学期以降の教育活動に生かしてまいります。

①グループ別協議

A グループ（ふかめる）	伊代田・中村・山本・鈴木・澤木
B グループ（みとめあう）	古橋廣一・小粥・齋藤・秋山・川合
C グループ（やりぬく）	嶋野・塚本・古橋光吉・辻村

②全体共有



今年度、新設した（大きく内容変更した）質問	
他の質問に比べ、比較の数値が高いもの	
他の質問に比べ、比較の数値が低いもの	
1学期は未実施	

				児童	とてもそう思う（％）	保護者	とてもそう思う（％）	教職員	とてもそう思う（％）	運営協議会・地域の方（外部）	とてもそう思う（％）
					とてもそう思う＋まあそう思う		とてもそう思う＋まあそう思う		とてもそう思う＋まあそう思う		とてもそう思う＋まあそう思う
学校教育目標	目指す子供像	目指す学校像	全体	①伊佐見小学校が好きである。	↓ 55.8 92.0	①子供は、楽しく学校に通っている。	47.4 93.4	①本校は、どの子ども大切に。よりよい信頼関係を築いて、楽しく学校生活が送れるような指導・支援を行っている。	↑ 182.6 95.6		
				②自分のめあて（になりたい自分の姿）を持ち、めあてに向かって力いっぱい取り組んでいる。	↓ 134.8 83.0			②本校では、教育実践を通して、学校教育目標「こころざしをもち 高め合う」及び目指す子供像「自立心と社会性を備えた未来の大人」に子供の姿を近づけることができている。	↓ 130.4 95.6		
				③先生たちは、いじめがないように指導したり、いじめがあったときは、すぐに対応したりしている。	67.2 93.8	③学校は、いじめの未然防止や早期発見に努め、いじめがあった場合には、迅速に対応をして解決しようとしている。	23.9 71.8	③本校では、いじめの未然防止や早期発見に努め、組織で早期対応をしている。	73.9 100.0		
				④困ったことがあったとき、先生に相談しやすい。	45.8 82.4						
			ふかめる	⑤授業のめあて（ゴール）に向かって、一生懸命学習に取り組んでいる。	↓ 144.6 87.5	⑤子供は、学習の課題を自分事として捉え、意欲的に授業に取り組んでいる。	21.1 76.3	⑤子供たちは、学習を自分事として捉え、意欲的に授業に取り組んでいる。	↓ 117.4 100.0		
				⑥授業中、進んで友達に考えを伝えたり、友達の考えをよく聴いたりして、自分の考えをよりよくしている。	↓ 142 85.8			⑥子供たちは、互いに考えを伝え合い、学びを深めることができている。	↓ 113.0 91.3		
				⑦授業（単元）のゴールを意識して、自分で計画を立てて勉強している。	↓ 135.5 177.9			⑦本校では、子供自ら学びを進めることができるように単元構想を工夫している。	↑ 147.8 95.6		
				⑧授業の内容がおもしろく、「好き」「もっと知りたい」と思うことが増えている。	47.1 84.4	⑧学校は、楽しく分かりやすい授業を行い、学習への興味が高まり、将来に向けてのきっかりとつくりとなっている。	22.3 83.7	⑧本校では、キャリア教育を視点とした授業改善に努め、子供たちの「好き」を増やすきっかけとなる授業を行っている。	34.8 100.0		
				⑨授業の内容がよく分かっている。	↓ 47.5 90.4	⑨子供は、学習内容をよく理解している。	↓ 12.1 73.5	⑨子供たちは、学習の基礎・基本が定着している。	↑ 8.7 ↓ 60.9		
				⑩授業の復習をしったり好きなこと（興味のあること）を調べたりして、家でも自分なりに学習をしている。	41.3 79.0	⑩子供は、授業の復習をしったり興味のあることを調べたりと、家庭でも進んで学習に取り組んでいる。	9.7 46.4	⑩本校では、子供たちが家庭でも自ら学習に取り組むことができるように、支援している。	26.1 82.6		
				⑪地域の人と一緒に活動したり、地域の人に教えてもらったりして、伊佐見地区のことが好きだ。	54.5 90.4	⑪学校は、地域の人材や教育資源を活用し、いろいろな体験学習を取り入れている。	37.4 92.4	⑪本校では、地域の人材や教育資源を活用し、豊かな体験学習を取り入れている。	82.6 95.6		
			みとめあう	⑫学校の中に安心できる場所があり、学校やクラスは楽しい。	↑ 164.5 ↑ 92.0	⑫学校に子供の居場所があり、友達と仲良く、安心して生活することができる。	↑ 44.5 ↑ 92.6	⑫一人一人に合った居場所があり、子供たちは安心して学校生活を送っている。	↑ 139.1 ↑ 95.6		
				⑬友達のをさを進んで見つけたり、互いに協力して遠足や1迎会などの活動に取り組んだりしている。	61.6 93.5	⑬子供は、互いのちがいを認めて生活したり、友達と協力して、遠足や1迎会などの活動に取り組んだりしている。	↑ 147.4 93.1	⑬子供たちは、ちがいを認め、互いのよさを生かして学校生活を送ったり、行事や児童会活動に協力して取り組んだりしている。	↑ 147.8 ↑ 95.6		
				⑭自分のクラスや学校をよりよくしようと、自分で考えて行動している。	↓ 43.5 85.2			⑭子供たちは、自分事として、学級や学校をよりよくしようと考え、行動している。	↑ 26.1 ↑ 95.6		
				⑮上級生として、下級生の手本となったり、やさしく接したりしている。（4年以上）	52.7 92.9	⑮学校は、異学年交流を通して、学年を超えて友達と関わる場面を増やしたり、上級生が学校のリーダーとしての意識を高めるようにしたりしている。	49.5 91.4	⑮高学年の子供たちは、異学年交流を通して、自ら主体となって活動を牽引していく意識を高めている。	56.6 95.6		
				⑯先生は、頑張っていることを褒めてくれたり、困ったときに助けてくれたりする。	↓ 61.6 92.0	⑯学校は、子供のことを理解し、心の変化や悩みに敏感に対応している。	23.0 ↑ 76.1	⑯子供たちは、自己有用感や自己肯定感を高めている。	8.7 91.3		
				⑰命の大切さが分かり、自分や友達のことを大切にしている。	71.9 96.2	⑰子供は命の大切さが分かり、自分や友達のことを大切にしている。	↑ 42.2 95.3	⑰子供たちは、命の大切さが分かり、自分や友達のことを大切にしている。	↑ 26.1 95.6		
				⑱友達や先生、地域の人に、自分から進んで挨拶している。	↓ 58.7 91.5	⑱子供は、進んで挨拶している。	23.7 71.6	⑱子供たちは、進んで挨拶をしようとする意識や実践力を付けている。	↓ 8.7 ↑ 75.2		
			やりぬく	⑲難しいことや不安なことにも、積極的にチャレンジしている。	↓ 42.0 82.4	⑲子供は、失敗を恐れずに、いろいろなことに挑戦しようとしている。	15.2 61.9	⑲子供たちは、失敗を恐れずに、いろいろなことに挑戦しようとしている。	↑ 117.4 78.3		
				⑳4月に考えた「なりたい自分」や目標に向かって、諦めることなく、粘り強く努力している。	46.0 87.5	㉑子供は、自分の立てた目標に向かって、諦めることなく粘り強く努力している。	16.1 65.9	㉑子供たちは、自分の立てた目標に向かって、諦めることなく粘り強く努力している。	↑ 117.4 82.6		
				㉒力いっぱい運動したり、休み時間に進んで運動したりしている。	49.3 77.6	㉒子供は力いっぱい運動し、体力を向上させたり、運動の習慣を身に付けたりしている。	32.5 76.3	㉒子供たちは、力いっぱい運動し、体力を向上させたり、運動の習慣を身に付けたりすることができる。	↑ 134.8 ↑ 87.0		
				㉓交通ルールを守り、安全に気を付けて生活している。	↓ 49.3 ↑ 77.6	㉓子供は、交通のルールを守り、安全に気を付けて生活している。	40.7 93.9	㉓子供たちは、交通安全や防災、防犯の意識を高め、安全に気を付けて生活している。	↑ 117.4 ↑ 78.3		
				㉔早寝・早起き・朝ご飯を意識して、規則正しく生活している。	51.8 86.4	㉔子供は、早寝・早起き・朝ご飯を意識して、規則正しく生活している。	41.9 82.9	㉔子供たちは、基本的な生活習慣（睡眠・食事等の自分の健康管理）を身に付けている。	↓ 117.4 ↑ 87.0		
			家庭との連携			㉕学校は、相談体制（面談や教育相談、ＳＣなど）が充実し、相談がしやすい。	28.4 85.7	㉕本校では、教育相談等を活用して、児童や保護者の話をよく聴いている。	56.5 95.6		
						㉖便りやＨＰ、さくら連絡網などを通して、学校の情報や学校生活の様子がよく分かる。	↑ 144.5 ↑ 193.8	㉖私自身を含め本校は、便りやＨＰ、さくら連絡網を通じて学校の情報や子供の様子を保護者に発信している。	↓ 60.9 ↑ 95.6		

R 7 伊佐見小学校 学校評価 1 学期【結果】

回答数：児童 448 人 保護者 422 人 教職員 23 人

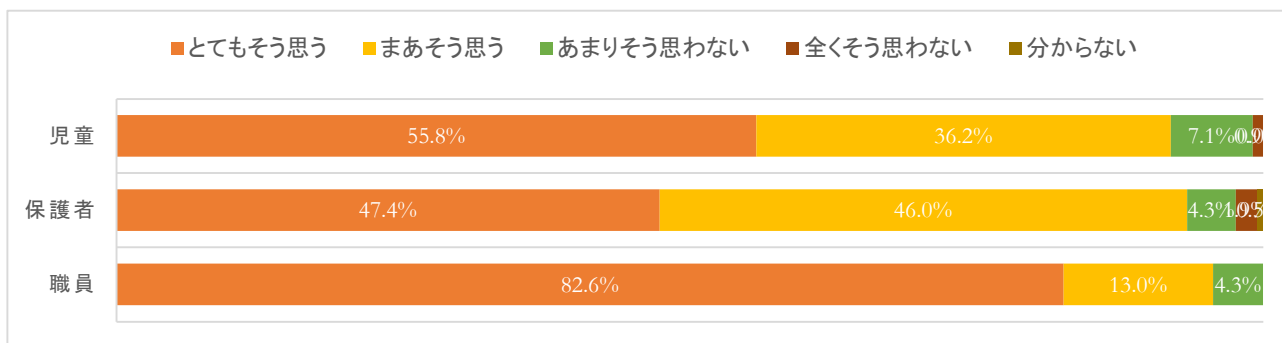
質問の記号：児童○ 保護者● 教職員★

1 【全体】

○伊佐見小学校が好きである。

●子供は、楽しく学校に通っている。

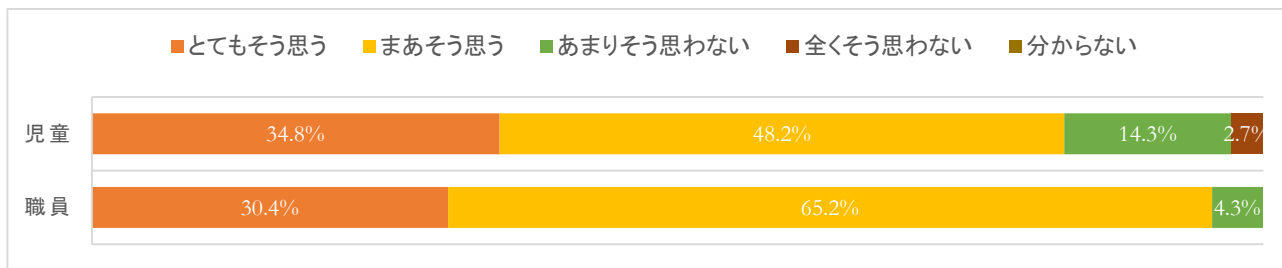
★本校は、どの子ども大切に、よりよい信頼関係を築いて、楽しく学校生活が送れるような指導・支援を行っている。



2 【全体】

○自分のめあて（なりたい自分の姿）を持ち、めあてにむかって力いっぱい取り組んでいる。

★本校では、教育実践を通して、学校教育目標「こころざしをもち 高め合う」及び目指す子供像「自立心と社会性を備えた未来の大人」に子供の姿を近付けることができている。

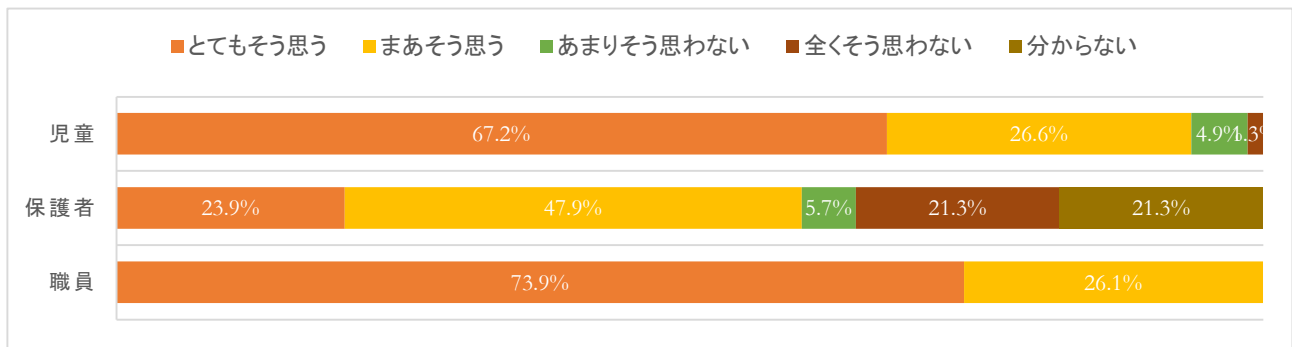


3 【全体】

○先生たちは、いじめがないように指導したり、いじめがあったときは、すぐに対応したりしている。

●学校は、いじめの未然防止や早期発見に努め、いじめがあった場合には、迅速に対応をして解決しようとしている。

★本校では、いじめの未然防止や早期発見に努め、組織で早期対応をしている。



4 【全体】

○困ったことがあったとき、先生に相談しやすい。

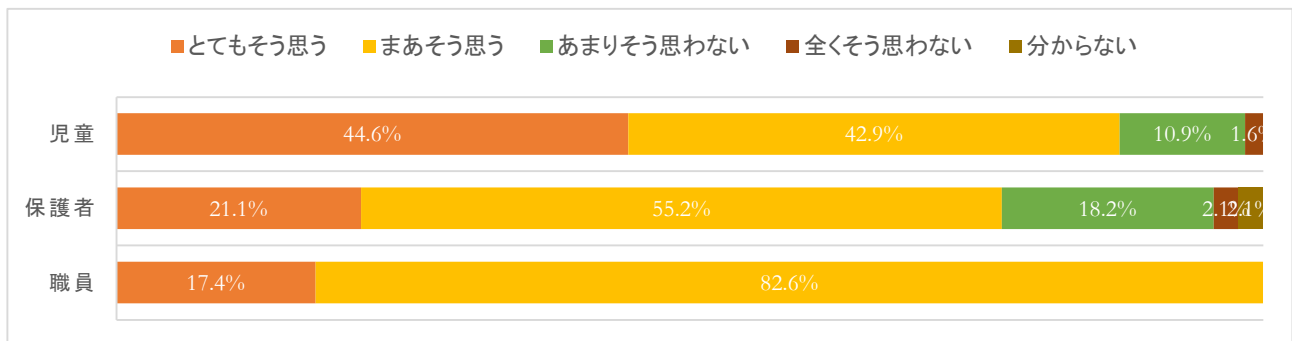


5 【ふかめる】

○授業のめあて（ゴール）に向かって、一生懸命学習に取り組んでいる。

●子供は、学習の課題を自分事として捉え、意欲的に授業に取り組んでいる。

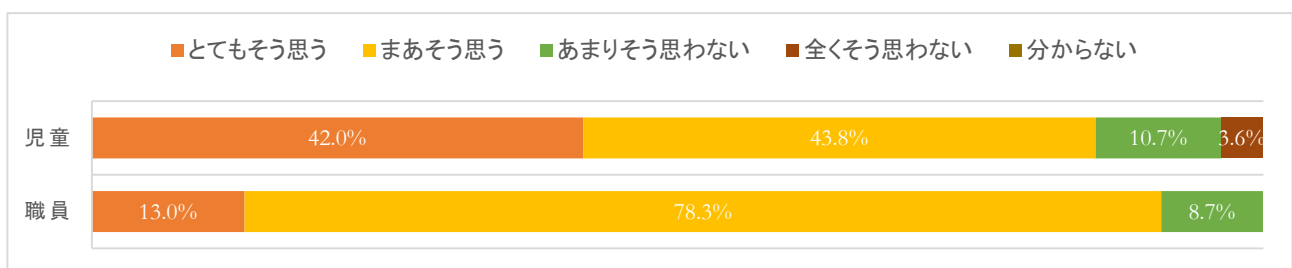
★子供たちは、学習を自分事として捉え、意欲的に授業に取り組んでいる。



6 【ふかめる】

○授業中、進んで友達に考えを伝えたり、友達の考えをよく聴いたりして、自分の考えをよりよくしている。

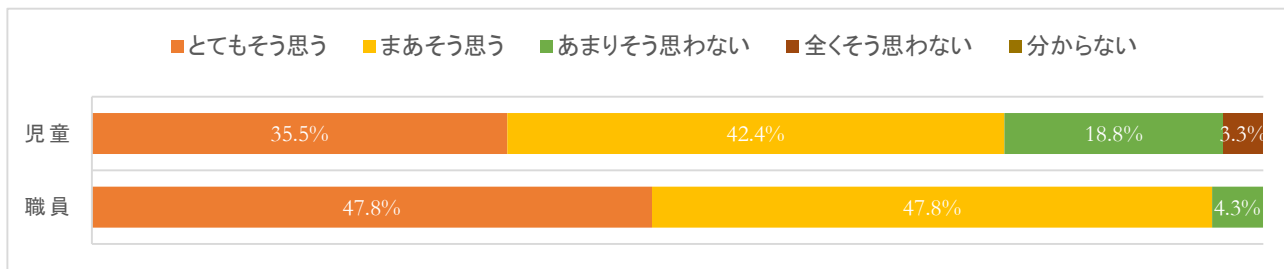
★子供たちは、互いに考えを伝え合い、学びを広げたり深めたりしている。



7 【ふかめる】

○授業（単元）のゴールを意識して、自分で計画を立てて勉強している。

★本校では、子供自ら学びを進めることができるように、単元構想を工夫している。

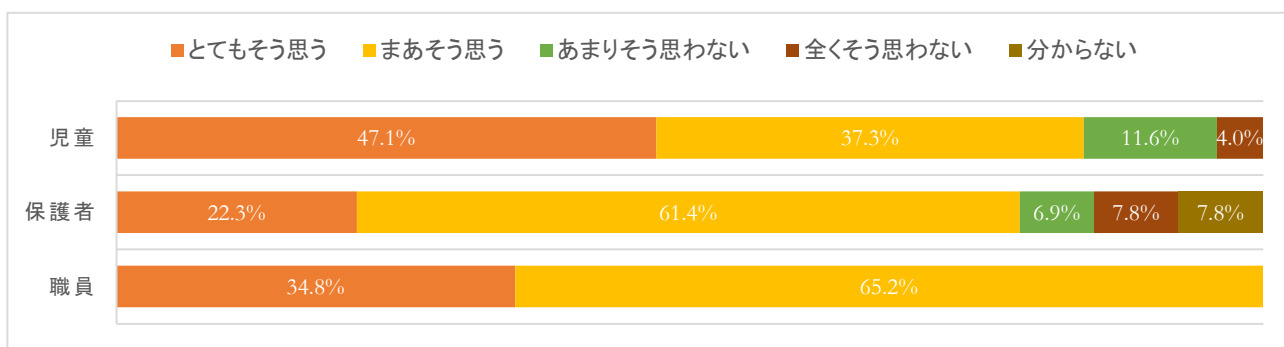


8 【ふかめる】

○授業の内容が楽しく、「好き」「もっと知りたい」と思うことが増えている。

●学校は、楽しく分かりやすい授業を行い、学習への興味が高まり、将来に向けてのきっかけづくりとなっている。

★本校では、キャリア教育を視点とした授業改善に努め、子供たちの「好き」を増やすきっかけとなる授業を行っている。

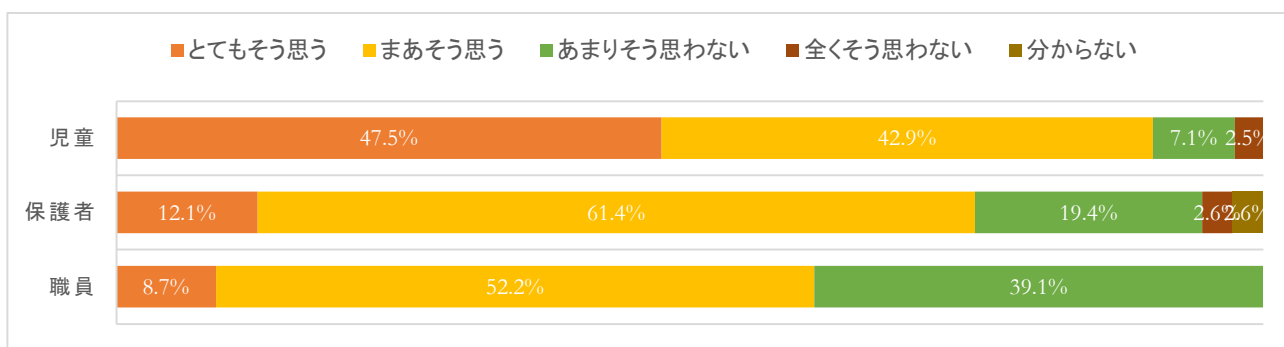


9 【ふかめる】

○学習内容がよく分かっている。

●子供は、学習内容をよく理解している。

★子供たちは、学習の基礎・基本が定着している。

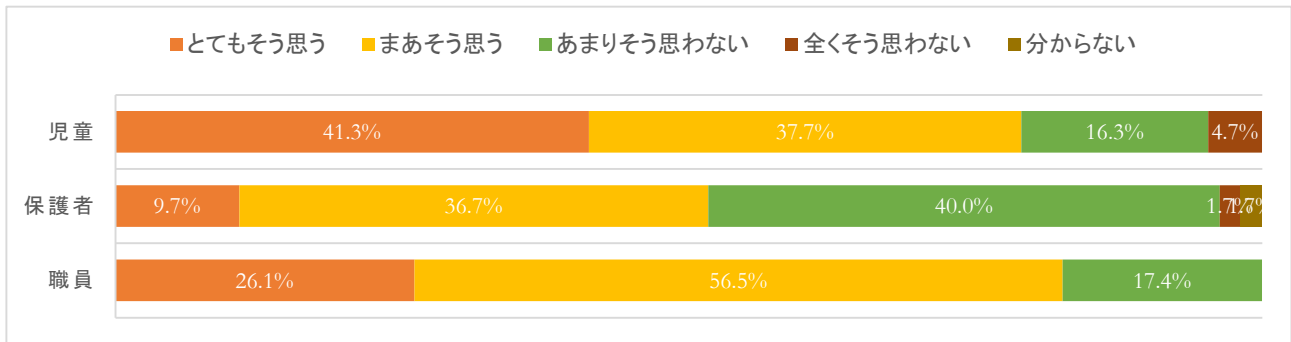


10【ふかめる】

○授業の復習をしたり好きなこと（興味のあること）を調べたりして、家でも自分なりに学習をしている。

●子供は、授業の復習をしたり興味のあることを調べたりと、家庭でも進んで学習に取り組んでいる。

★本校では、子供たちが家庭でも自ら学習に取り組むことができるように、支援している。

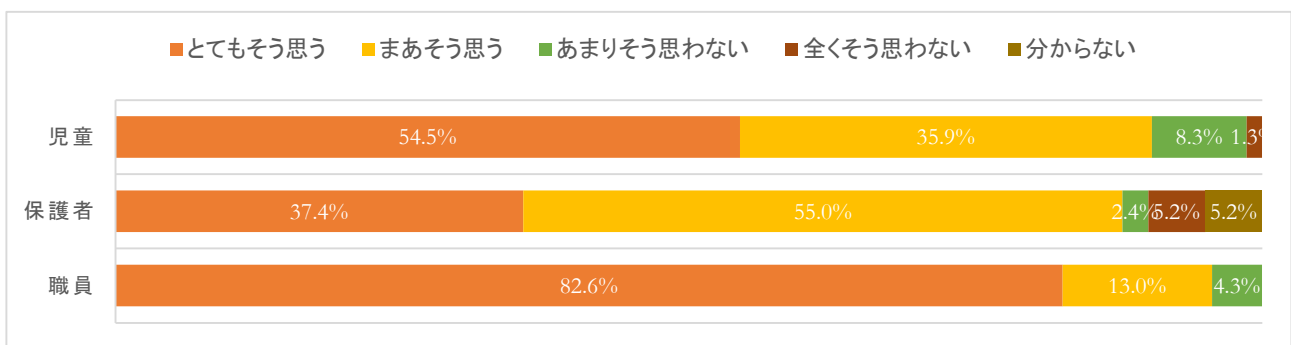


11【ふかめる】

○地域の人と一緒に活動したり、地域の人に教えてもらったりして、伊佐見地区のことが好きだ。

●学校は、地域の人材や教育資源を活用し、いろいろな体験学習を取り入れている。

★本校では、地域の人材や教育資源を活用し、豊かな体験学習を取り入れている。

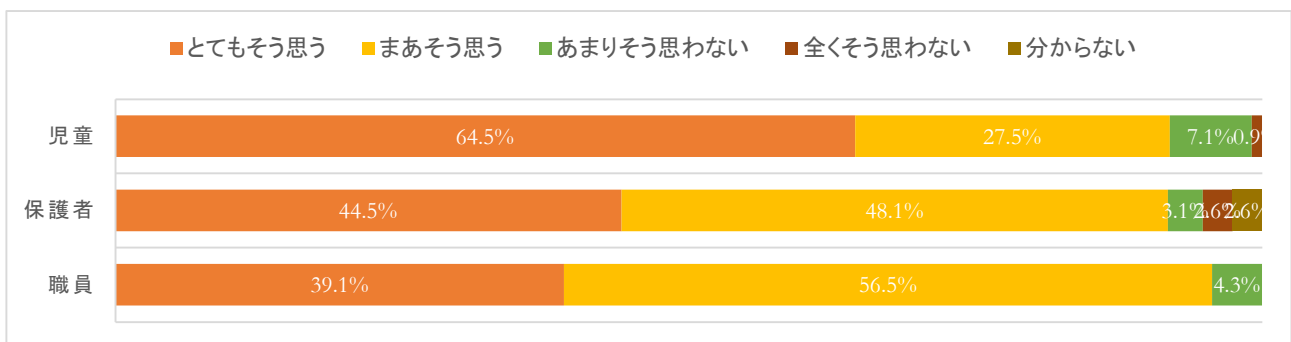


12【みとめあう】

○学校の中に安心できる場所があり、学校やクラスは楽しい。

●学校に子供の居場所があり、友達と仲良く、安心して生活することができている。

★一人一人に合った居場所があり、子供たちは安心して学校生活を送っている。

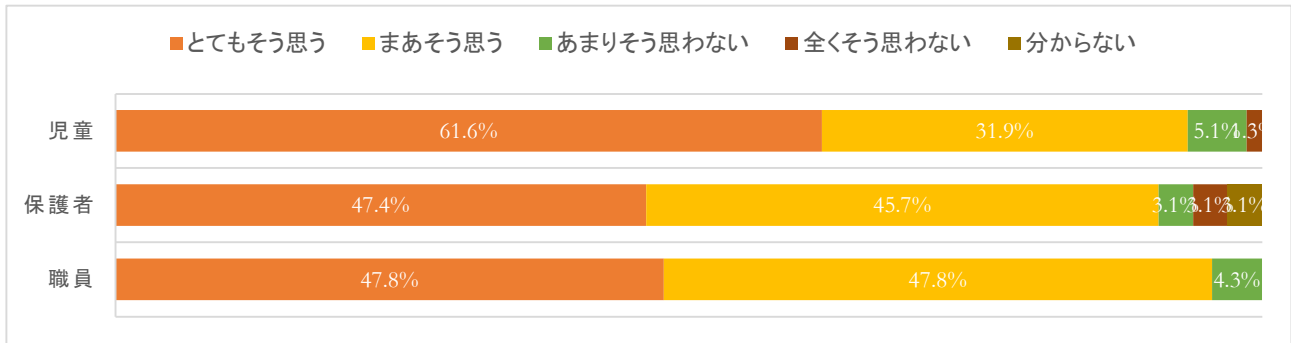


1 3 【みとめあう】

○友達のよさを進んで見つけたり、互いに協力して、遠足や1 迎会などの活動に取り組んだりしている。

●子供は、互いの違いを認めて生活したり、友達と協力して、遠足や1 迎会などの活動に取り組んだりしている。

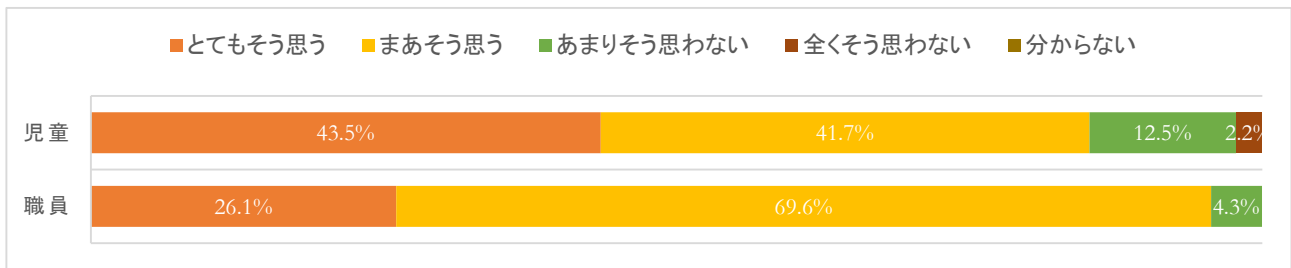
★子供たちは、ちがいを認め、互いのよさを生かし合って学校生活を送ったり、行事や児童会活動に協力して取り組んだりしている。



1 4 【みとめあう】

○自分のクラスや学校をよりよくしようと、自分で考えて行動している。

★子供たちは、自分事として、学級や学校をよりよくしようと考え、行動している。

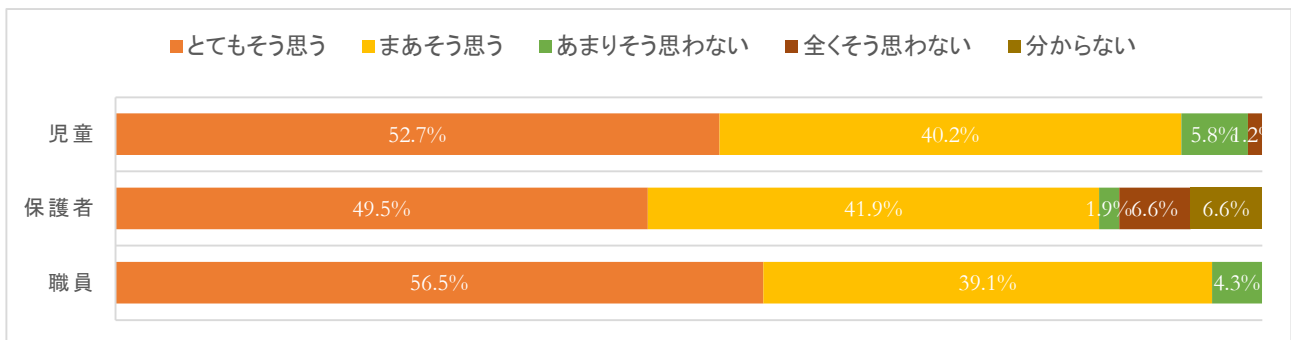


1 5 【みとめあう】

○上級生として、下級生の手本となったり、やさしく接したりしている。（4 年以上）。

●学校は、異学年交流を通して、学年を超えて友達と関わる場面を増やしたり、上級生が学校のリーダーとしての意識を高めるようにしたりしている。

★高学年の子供たちは、異学年交流を通して、自ら主体となって活動を牽引していく意識を高めている。

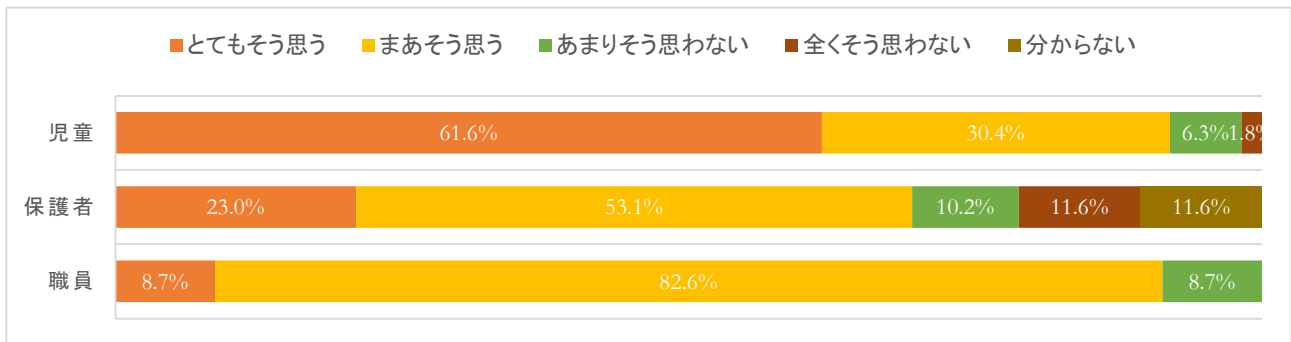


16 【まとめあう】

○先生は、頑張っていることを褒めてくれたり、困ったときに助けてくれたりする。

●学校は、子供のことを理解し、心の変化や悩みに敏感に対応している。

★子供たちは、自己有用感や自己肯定感を高めている。

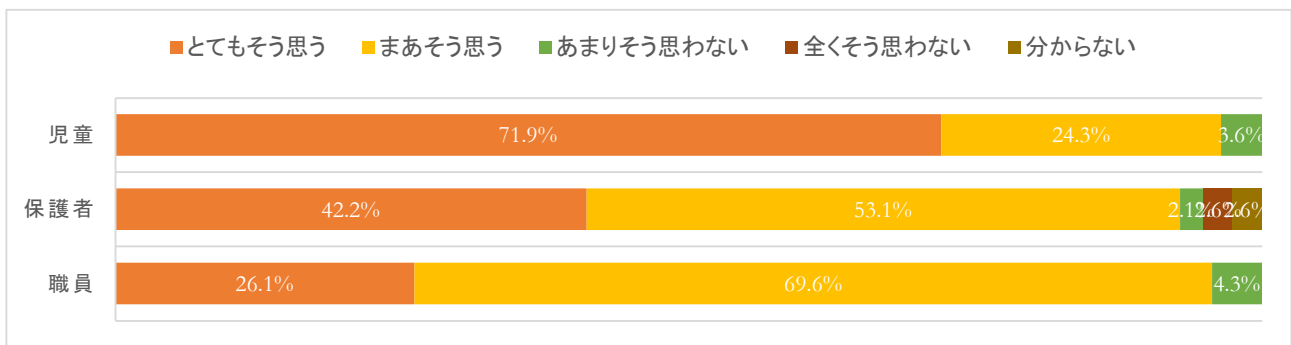


17 【まとめあう】

○命の大切さが分かり、自分や友達のことを大切にしている。

●子供は命の大切さが分かり、自分や友達のことを大切にしている。

★子供たちは、命の大切さが分かり、自分や友達のことを大切にしている。

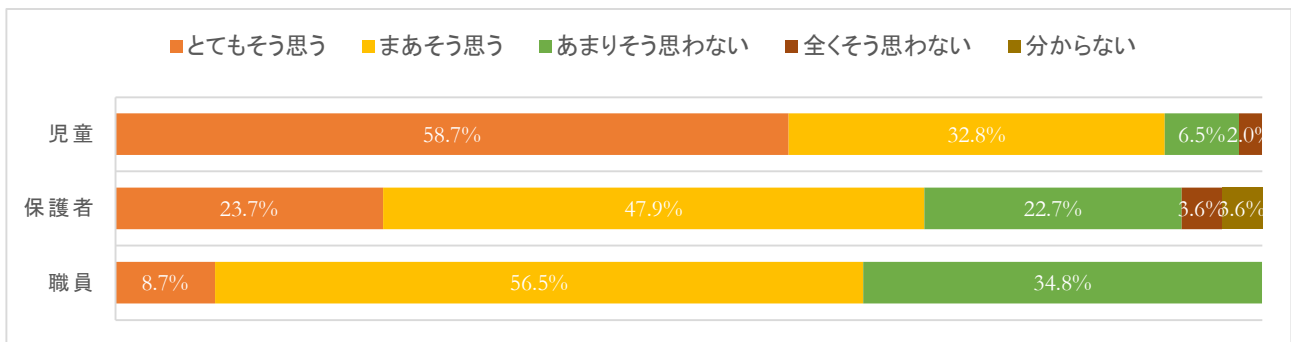


18 【まとめあう】

○友達や先生、地域の人に、自分から進んで挨拶している。

●子供は、進んで挨拶している。

★子供たちは、進んで挨拶をしようとする意識や実践力を付けている。

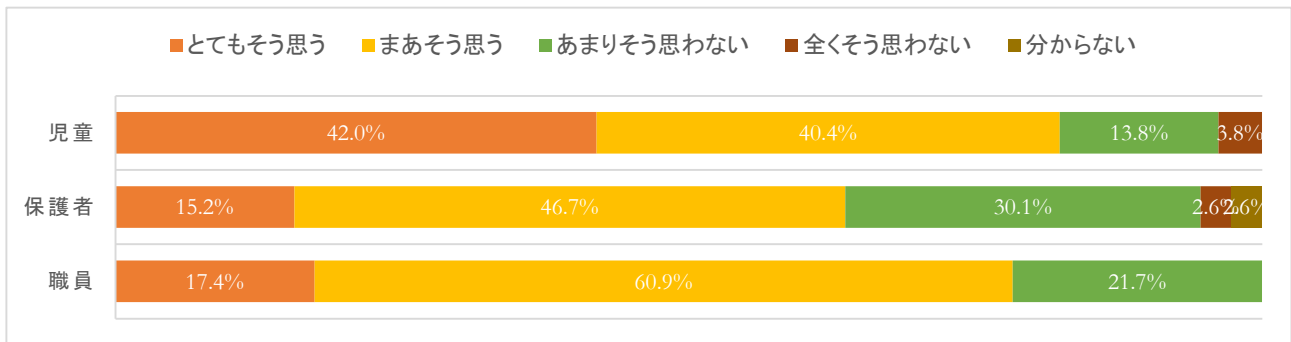


19 【やりぬく】

○難しいことや不安なことにも、積極的にチャレンジしている。

●子供は、失敗を恐れずに、いろいろなことに挑戦しようとしている。

★子供たちは、失敗を恐れずに、いろいろなことに挑戦しようとしている。

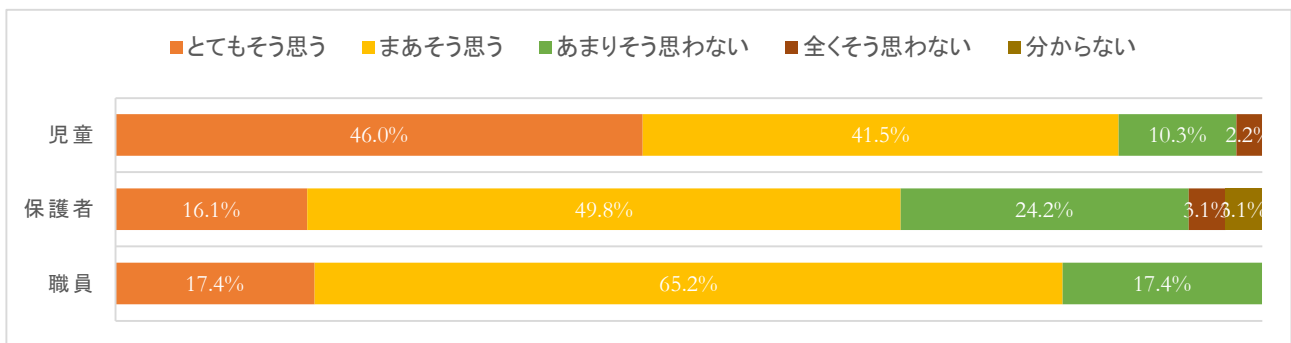


20 【やりぬく】

○「なりたい自分」や目標に向かって、諦めることなく、粘り強く努力している。

●子供は、自分の立てた目標に向かって、諦めることなく粘り強く努力している。

★子供たちは、自分の立てた目標に向かって、諦めることなく粘り強く努力している。

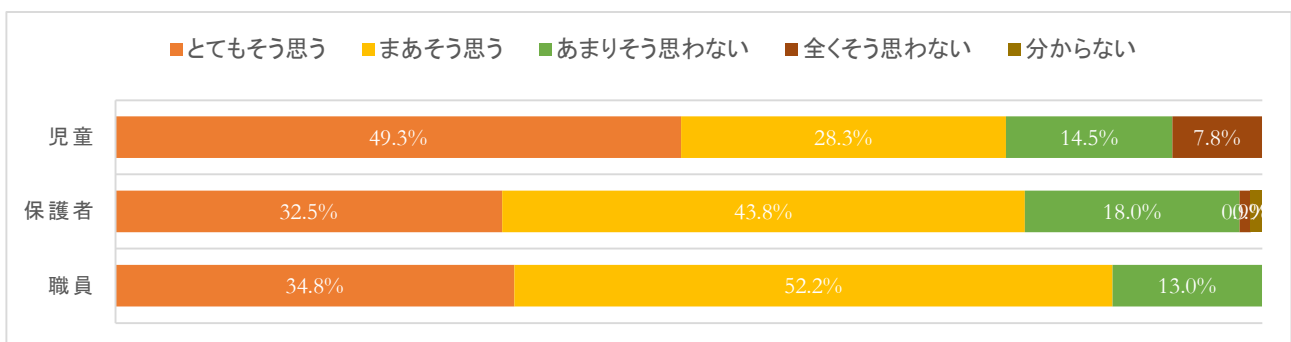


21 【やりぬく】

○力いっぱい運動したり、休み時間に進んで運動したりしている。

●子供は力いっぱい運動し、体力を向上させたり、運動の習慣を身に付けたりしている。

★子供たちは、力いっぱい運動し、体力を向上させたり、運動の習慣を身に付けたりすることができている。

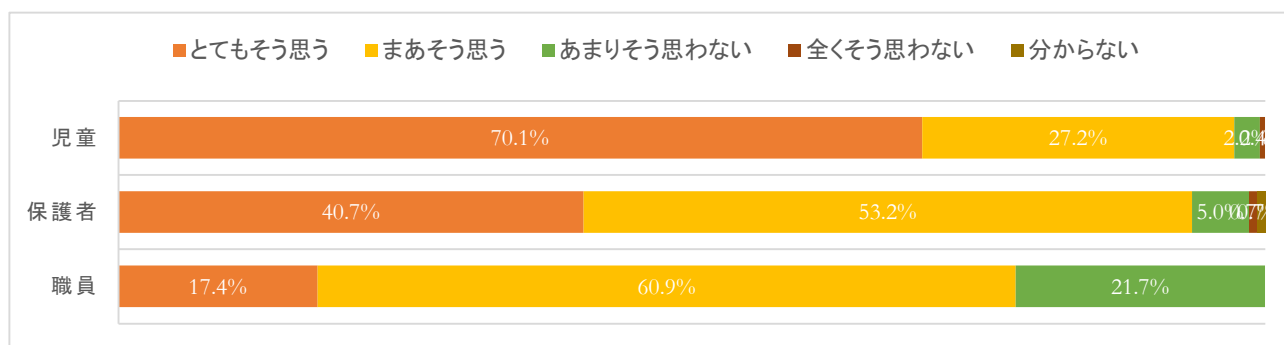


2 2 【やりぬく】

○交通のルールを守り、安全に気を付けて生活している。

●子供は、交通のルールを守り、安全に気を付けて生活している。

★子供たちは、交通安全や防災、防犯の意識を高め、安全に気を付けて生活している。

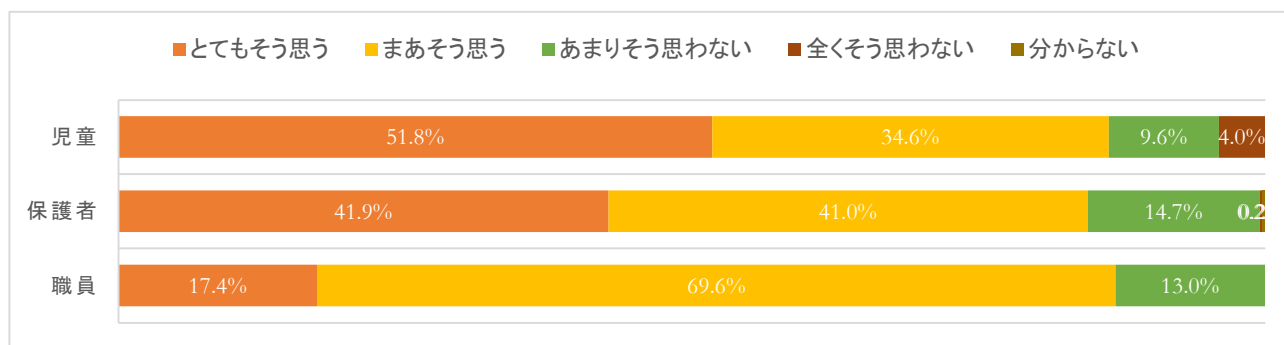


2 3 【やりぬく】

○早寝・早起き・朝ご飯を意識して、規則正しく生活している。

●子供は、早寝・早起き・朝ご飯を意識して、規則正しく生活している。

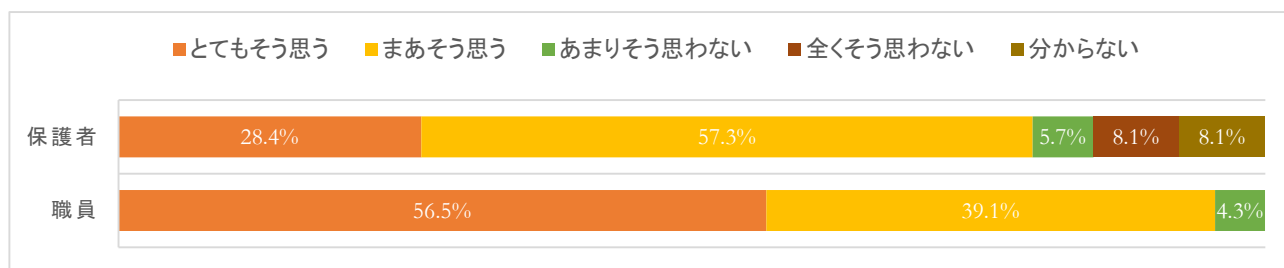
★子供たちは、基本的な生活習慣（睡眠・食事等の自分の健康管理）を身に付けている。



2 4 【家庭との連携】

●学校は、相談体制（面談や教育相談、ＳＣなど）が充実し、相談がしやすい。

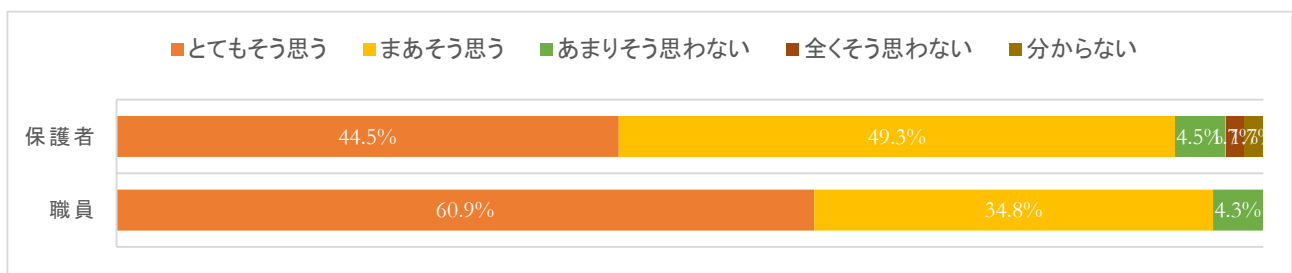
★本校では、教育相談等を活用して、児童や保護者の話をよく聴いている。



2 5 【家庭との連携】

●便りやＨＰ、さくら連絡網などを通して、学校の情報や学校生活の様子がよく分かる。

★私自身を含め本校は、便りやＨＰ、さくら連絡網を通じて学校の情報や子供の様子を保護者に発信している。



学校応援隊『4～6月』活動報告

R7.7.1

月	日	学年	活動内容	人数
5		2	サツマイモ畑の整備	○1名
5	14 28	1.2 3	本の読み聞かせ	☆2名 ○2名 ☆1名 ○1名 ◎1名
6	11 25	1.4 1.5.若	本の読み聞かせ	☆2名 ○2名 ☆2名 ○2名
5 6	28 4 13 25	2 2 2 2	まち探検 ・安全見守り	☆6名○8名
6	25	4.5.6	クラブ活動	○4名
	25	1	公園で夏をさがそう ・安全見守り	○4名

☆地域13 ○保護者23 ◎学生1 (延べ人数)

♡新規の保護者(1年生)が読み聞かせメンバーに2名加入

○保護者に応援隊(活動)の大切さを感じてもらえた

○支援に入ること、安全に活動できた

○各活動は学校ブログに掲載されています

教室配置図・担任名

